

埼玉県地震概況（2022年9月）

熊谷地方気象台 2022年10月12日

（ここに掲載する震源要素は暫定値であり、後日修正されることがあります。）

※巻末に以下について掲載しましたのでご参照ください。

【防災一口メモ】津波防災の日

【お知らせ】令和4年11月2日に緊急地震速報の訓練を実施します。

◇9月の地震概況

埼玉県内で震度1以上を観測した地震は12回でした。

20日5時55分に発生した栃木県南部の地震により、埼玉県内で震度3～1を観測しました。

30日14時58分に発生した茨城県南部の地震により、埼玉県内で震度3～1を観測しました。

1. 埼玉県内で震度1以上を観測した地震（2022年9月1日～2022年9月30日）

No.	地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	国内 最大震度	県内 最大震度
1	2022/09/03 05:24	千葉県東方沖	35° 27.2' N	140° 25.8' E	32 km	M4.1	3	1
2	2022/09/03 11:54	埼玉県南部	35° 50.0' N	139° 49.7' E	84 km	M4.2	2	2
3	2022/09/03 16:34	茨城県南部	36° 09.0' N	139° 50.1' E	51 km	M3.9	2	2
4	2022/09/04 15:46	福島県沖	37° 50.4' N	141° 44.9' E	64 km	M4.8	2	1
5	2022/09/09 18:54	茨城県北部	36° 49.1' N	140° 35.2' E	7 km	M4.5	3	2
6	2022/09/18 11:09	千葉県北東部	35° 51.9' N	140° 38.4' E	51 km	M4.7	3	1
7	2022/09/20 05:55	栃木県南部	36° 20.6' N	139° 49.1' E	70 km	M4.4	3	3
8	2022/09/22 07:24	千葉県東方沖	35° 16.7' N	141° 13.0' E	13 km	M5.3	2	2
9	2022/09/23 09:53	茨城県南部	36° 04.5' N	140° 12.1' E	83 km	M4.7	3	2
10	2022/09/25 07:31	茨城県北部	36° 48.6' N	140° 34.8' E	7 km	M4.2	2	1
11	2022/09/30 00:03	茨城県北部	36° 49.4' N	140° 35.3' E	7 km	M4.4	3	1
12	2022/09/30 14:58	茨城県南部	36° 04.7' N	139° 51.8' E	47 km	M4.4	4	3

※震度分布図や観測点の表などの詳細は「震度データベース検索」をご参照ください。

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>)

2. 埼玉県内で震度3以上を観測した地震（2022年9月1日～2022年9月30日）

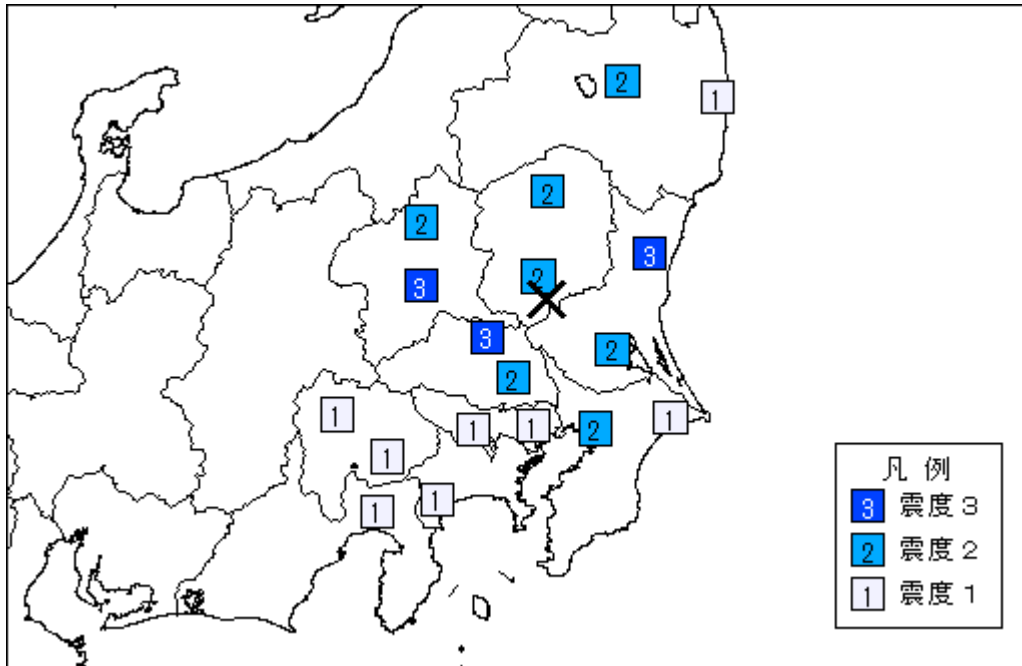
9月20日 5時55分 栃木県南部の地震（深さ：70km、マグニチュード：4.4）

茨城県、群馬県及び埼玉県で震度3を観測したほか、関東地方、福島県、山梨県、静岡県で震度2～1を観測しました。

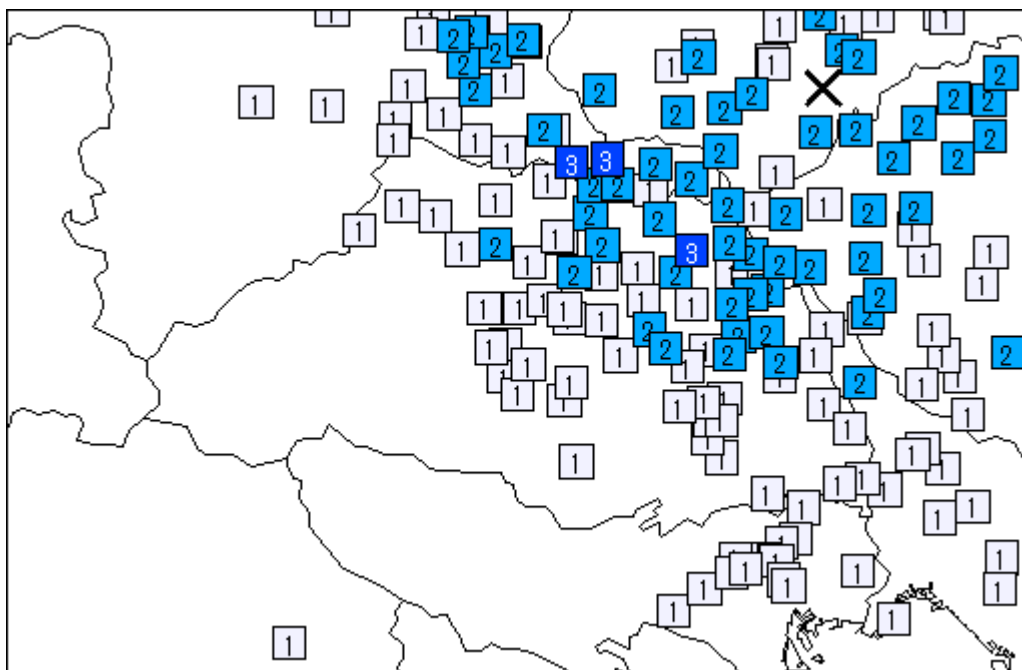
埼玉県内では、加須市で震度3を観測したほか、震度2～1を観測しました。

この地震は、発震機構*が東北東-西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型でした。（「3. 震央分布図及び断面図」参照）。

*発震機構：地震を起こした断層が地下でどのようになっているかとその断層がどのように動いたかを示すもの
（「発震機構解とは何か」 <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/kaiyetu/mechkaiyetu.html>）



地域別の震度分布図（×は震央）



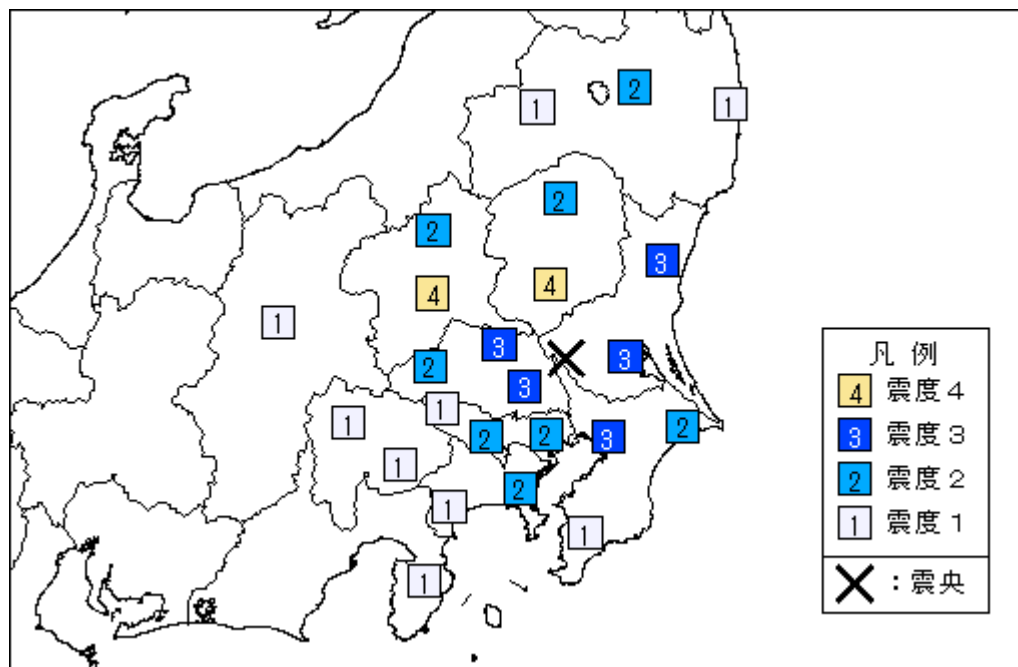
観測点別の震度分布図（埼玉県付近を拡大）

9月30日 14時58分 茨城県南部の地震（深さ：47km、マグニチュード：4.4）

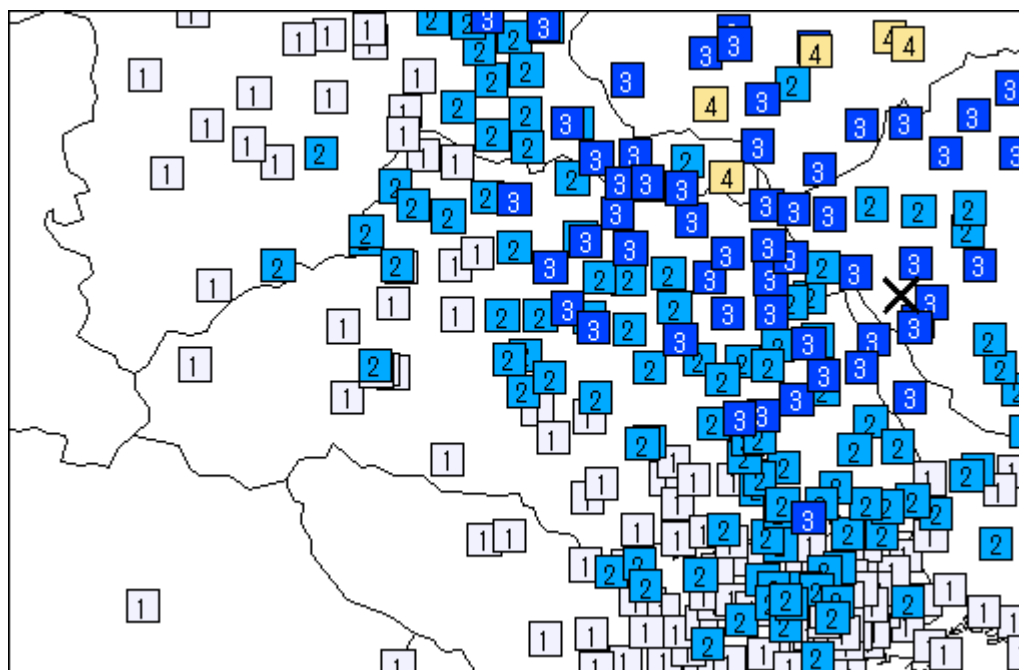
栃木県、群馬県で震度4を観測したほか、関東甲信地方、福島県、静岡県で震度3～1を観測しました。

埼玉県内では震度3～1を観測しました。

この地震は、発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。（「3. 震央分布図及び断面図」参照）。



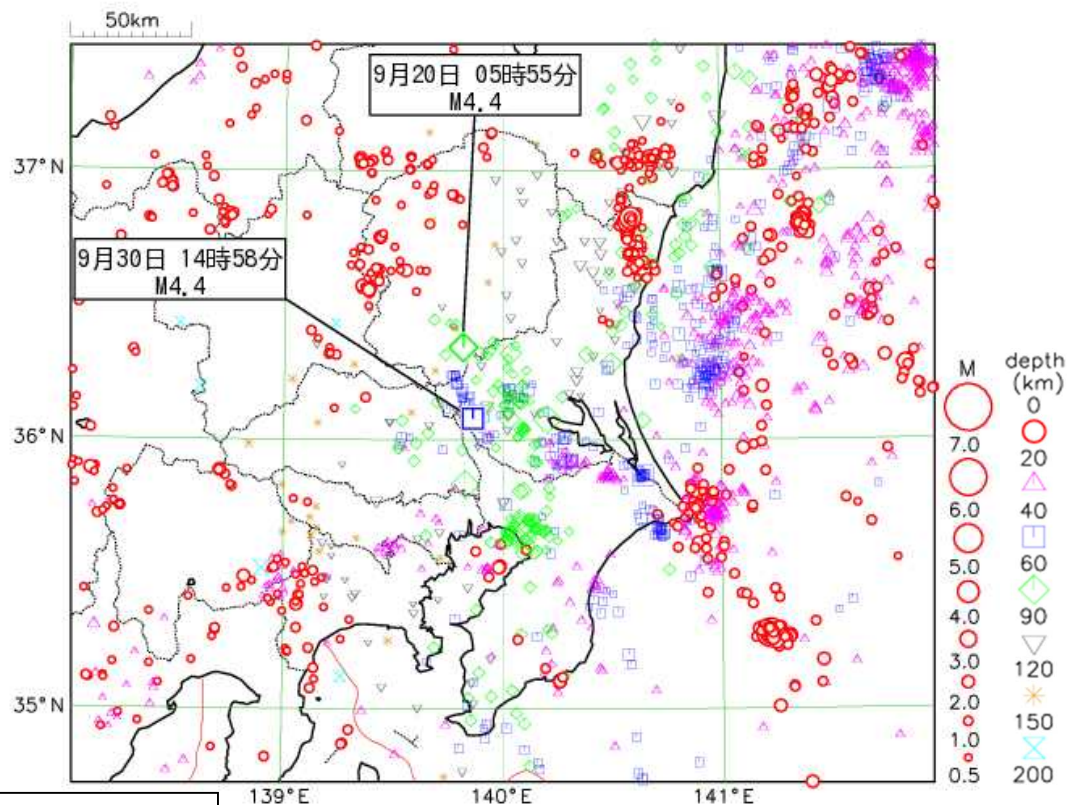
地域別の震度分布図（×は震央）



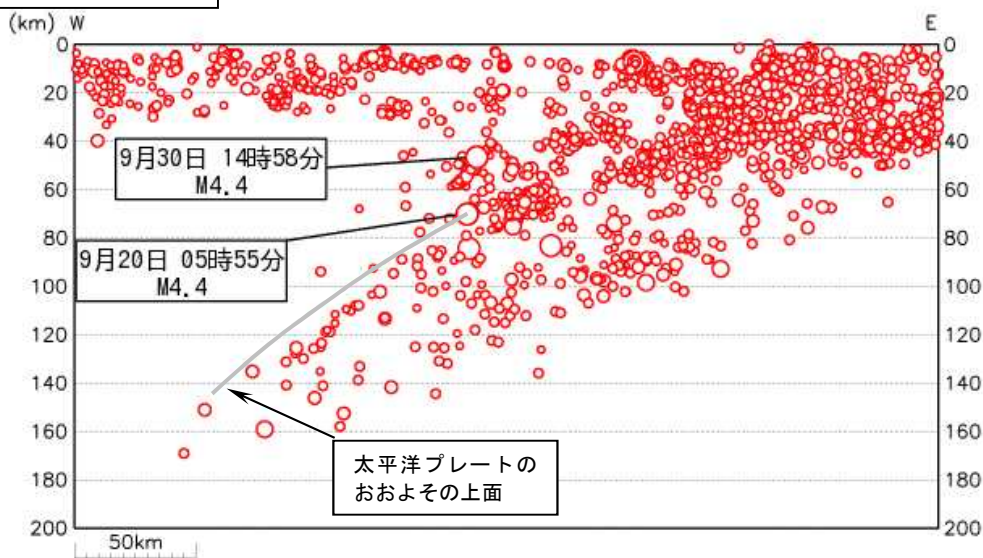
観測点別の震度分布図（埼玉県付近を拡大）

3. 震央分布図及び断面図 (2022年9月1日~2022年9月30日)

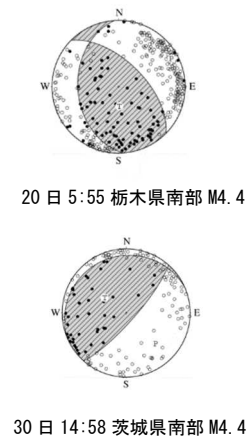
◇ 震央分布図



◇ 断面図



発震機構



・ Mはマグニチュードで0.5以上、深さは200kmまでの地震を示しています。

・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
 また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。
 ・ 本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』 を使用しています。

津波防災の日

11月5日は「津波防災の日」です。東日本大震災を受けて、平成23年（2011年）6月に津波から国民の生命を守ることを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。その中で、毎年11月5日（江戸時代に大きな津波被害をもたらした安政南海地震の発生日に因んで）を「津波防災の日」と定め、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるようにすることとされています。

津波防災の日（11月5日）について（内閣府ホームページ）

<http://www.bousai.go.jp/jishin/tsunami/tsunamibousai/tsunamibousaiday.html>

気象庁では、津波による被害が発生するおそれがあることをいち早くお知らせするため、大きな地震が発生した場合にはその規模や場所から津波が発生するかどうかを解析し、大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）を発表します。ただちに津波から逃げる行動をとりましょう。

リーフレット「津波防災」（気象庁ホームページ）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunamibosai/index.html>

[津波フラッグ]

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン等様々な手段で伝達されますが、令和2年（2020年）6月から、海水浴場等における津波警報等の伝達に、赤と白の格子模様の旗である「津波フラッグ」が活用されるようになりました。津波フラッグを用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方はもちろんのこと、外国人の方にも津波警報等の発表をお知らせできるようになります。

津波フラッグは、海岸や津波避難ビル等においてライフセーバー等により掲出されます。また、海岸近くの建物から垂れ下げることにより掲出される場合もあります。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに海から離れて高いところへ避難して下さい。

埼玉県には海はありませんが、海のレジャーに出かけるときには「津波フラッグ」のことも忘れずに！！

津波フラッグ（気象庁ホームページ）

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



【お知らせ】

令和4年11月2日に緊急地震速報の訓練を実施します。

「緊急地震速報」を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかですが、その短い時間に身を守る行動をとることが期待されます。限られた時間で適切な行動をとって身を守るためには、日頃の訓練や心得が重要です。気象庁では、11月2日（水）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

